

Sankka

讃歌
夏号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 消化器内視鏡センター長
聞きました。

最先端の機器と
高い専門技術を駆使して、より高度な
診断と治療を患者さんに提供しています。

◎特集② 山木院長に聞きました。

京都九条病院に関わる全ての職員の力で
「病院機能評価」認定の更新ができました。

◎院内レポート

○先進医療 ○外国人看護師候補生が国家試験に合格。

◎「マルチタレント」広場

○健康は毎日の食事から「医食同源」講座(第17講目)

○私の病院自慢あれこれ(第30回)

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第30弾)

◎院内活動のご紹介!!

○マラソン

◎院内散策②

○平成24年度看護研究発表会



院長 山木垂木



消化器内視鏡センター長・
消化器内科部長 光藤章二

vol.30
2013 Summer
夏号

最先端の機器と

高い専門技術を駆使して、

より高度な診断と

治療を患者さんに

提供しています。

Shoji Mitsufuji

京都九条病院 消化器内視鏡センター長 消化器内科部長 光藤 章二

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(大腸ESD)をはじめ、最新の内視鏡治療を行っています。

食生活の変化やストレスなどによって消化器系統の病変、なかでも大腸癌や小腸の病気が増加しています。こうした疾患をより早期に見出し、正確に診断・

治療するために、当院では2008年にカプセル内視鏡検査も含めた最新の内視鏡診療機器を導入し、最先端の検査、治療を進めてきました。さらに、

2011年には京都九条病院の拡張リニューアルに伴って内視鏡センターを創設、スタッフも消化器病あるいは内視鏡の学会指導医・専門医が集まり、充実した検査・治療体制のもと、専門性の高い診療を提供しています。

当センターの内視鏡診断・治療の症例数は、2010年が約2800例、11年が約3500例、12年は約4500例と順調に増えています。これは、当院の内視鏡診断・治療が一般に広く認知され、信頼度を増してきたことに加え、新しい内視鏡診断・治療法に対して保険が適用さ

れるようになり、より多くの患者さんが最新の診断・治療を受けられるようになってきたことも大きな要因です。

その一つが内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)です。従来外科手術が必要であった大型の病変でも専用の電気メスを用いて少しずつ病変を剥離していくことで、

高率に病変を一括切除することができ、高い根治が望める新しい内視鏡治療で、早期胃癌、早期食道癌に続いて、2012年4

月には大腸腫瘍にも適用になりました。とくに、横に広がる平べったい大腸の腫瘍は従来の方法では取り除くことが難しく、内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(大腸ESD)は最も有効な治療法と考えられています。ただ、保険が適用になったとはいえ、大腸ESDは高い技術が必要で最新の設備を備えた専門施設でない

と行えないため、実施されているのは届け出をした施設に限られています。当院は、保険適用に先立つ2011年12月に大腸ESD施行可能な施設として厚労省から承認されており、その点でも安心して診断・治療を受けていただくことができます。

日本カプセル内視鏡学会指導施設

日本消化器内視鏡学会指導施設として 内視鏡診断・治療のレベルアップに貢献しています。

カプセル内視鏡診断・バルーン小腸内視鏡治療を発展させるため、2008年に京都九条病院がセンター機関となり京都府立医大関連施設間で、京都府全域

をカバーする京都府消化器診断ネットワークを発足させました。この診断ネットワークシステムは、カプセル内視鏡診断を遠隔的にフォローするシステムで、現在、



OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- 1 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- 2 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- 3 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- 4 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- 5 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- 6 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- 7 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスケアを進めます。
- 8 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



診断装置
RAPID ワークステーション



レーザー光による
新世代内視鏡システム



最新型カプセル
PillCam SB2 plus.

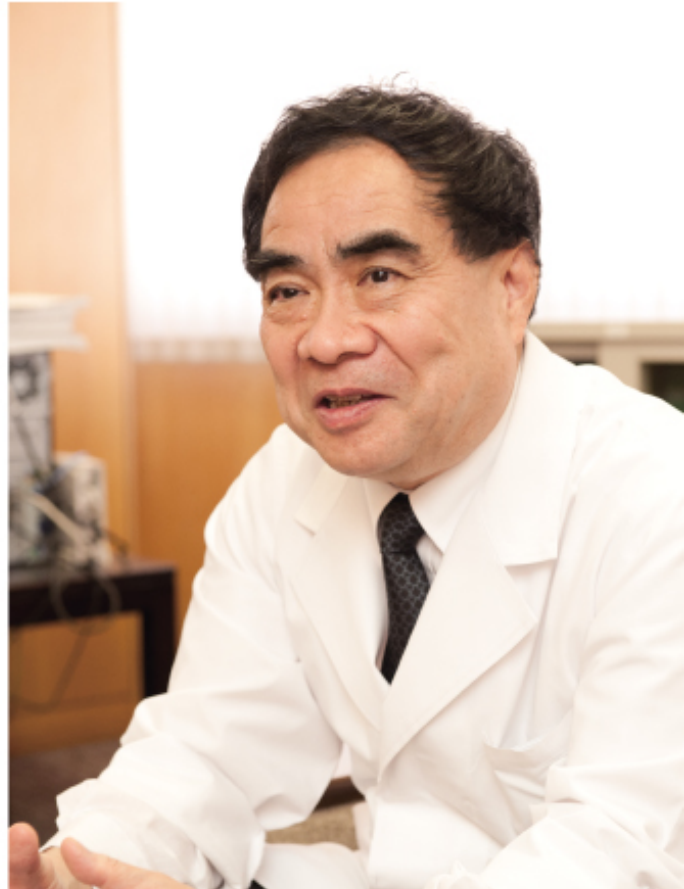
外径:11mm、長さ:26mmの
カプセル型内視鏡。カプセル
の中には小型イメージセンサ
ーが内蔵されており、このカ
プセルが患者さんの腸内の
画像を収集します。

岐阜や大阪の医療施設も含めて7つの医療施設とネットワークを形成し、各病院からデータを送ってもらい、当内視鏡センターで読影して診断レポートを各医療施設に返送するという方法で遠隔診断を行っています。カプセル内視鏡の保険適用基準が2012年の7月に拡大され、当初は原因不明の消化管出血の症例に限られていたのが、小腸疾患を疑われる症例全般にも用いることができるようになり、急激に症例が増加、この3月末で454の症例が集まりました。小腸は病気になるという前提で、まだ薬も開発されていないというのが現状ですが、こうした症例を集積していくことで、

小腸の薬も開発されていくと期待しています。
また、こうした実績により、今年2月に当院が日本カプセル内視鏡学会指導施設に、私が日本カプセル内視鏡学会指導医に認定されました。この分野では最初の認定登録で、認定された指導施設は全国で61箇所(京都では京都府立医大と当院の2施設のみ)、指導医は97名だけです。当院は日本消化器内視鏡学会の指導施設にもなっており、カプセル内視鏡も含め指導機関としても大きな働きをしています。すでに、大学病院などから若い先生た

ちが毎年勉強に来ており、当院の内視鏡の指導医、専門医のもとで新しい技術を学んでいます。地域の病院として患者さんにより高度な診断・治療を提供していくとともに、指導機関として、また指導医として後進の育成にも力を入れ、内視鏡診断・治療のレベルアップに貢献していきたいと考えています。





特集

2

山木院長に聞きました。

京都九条病院に関わる 全ての職員の力で

「病院機能評価」認定の 更新ができました。

Tarumi Yamaki

京都九条病院 院長 山木 垂水

京都九条病院は今回で3度目となる「病院機能評価」認定の更新ができました。

当院ではこの評価制度が始まって間もない2003年に最初の認定を受けました。現在は全国の病院の28%がこの認定を受けていますが、当時は大きな病院でもまだ受けていない時期で、京都で12番目の認定病院でした。

※「病院機能評価」とは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを第三者が評価する仕組みです。

今回の評価項目は350以上、回を重ねるごとに項目は増え、評価内容も「患者さんへの医療の内容」に重きが置かれるようになってきました。とくに重要視されたのはケアプロセスです。患者さんに関わる医師をはじめ看護師、検査技師、リハビリテーションスタッフ、クラークなどがどのようにつながっているか、患者さんに対する向き合い方や態度はどうか、といった点が細かく審査されました。

評価をする項目は予め公開されていますので、まずは病院全体でディスカッションして問題点を洗い出し、全スタッフが「丸」となって改

善に取り組みます。そのうえで、各項目に対する自己評価を申告。それを受けて、サーベイヤー（全国の病院関係者の中で日本医療機能評価機構に登録している医師や看護師、病院事務などのプロフェッショナル）が実際に申告通りに行われているかをチェックするわけですが、今回は7名のサーベイヤーが当院を訪れて院内を見て回り、患者さんが退院時に提出するアンケートなども含め、さまざまな角度からチェックが行われました。その結果、すべての項目について改善指摘もなく、4月初旬に認定病院として評価を受けることが出来ました。

「認定病院」として評価を受けることは、地域の方により安心して病院をご利用いただけると共に、私たちの自信に繋がります。さらにグレードアップしてこうというモチベーションになります。また、病院に求められるものは時代によつて変化しますので、5年ごとの評価で、いま求められている医療についての指標を知ることが出来るのです。

さらに、対外的なメリット以上に大きいことは、私たちに求められているケアが常に出来ているの

かどうかを見直す機会となること。医療の質の高さはもちろん、患者さんに対するケアやマナーなども含めて病院全体の医療体制がどう機能しているかが評価の中心です。ですから、病院に関わっているすべての職員が350項目について自ら考え、互いに改善点を指摘し合い、共に取り組む必要があります。この審査に向けて取り組み過程が非常に大切であり、病院がグレードアップしていく契機になっています。

当院では、今回の「評価」を10年間の総仕上げと受け取り、さらに5年後の審査に向けて、いままでの取り組み過程で得たことを大切にこれからも歩んでまいります。



先進医療

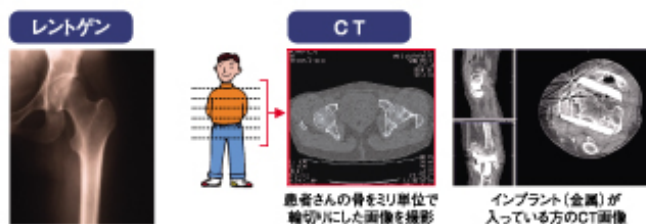
「実物大臓器立体モデルによる手術支援」について

「実物大臓器立体モデルによる手術支援」とは、骨盤、四肢骨または関節に著しい変形や欠損を伴う疾患・外傷を受けられた方を対象に、CTデータを元に患者さんの骨を精密に再現した立体モデルを作製し、このモデルを用いて診断、手術計画の立案、手術のシミュレーション、患者さんへの説明を行うもので、厚生労働省が定める「先進医療」に認められています。

◎「実物大臓器立体モデルによる手術支援」のメリット

整形外科医は、通常、レントゲン写真やCT画像を元に患者さんの骨がどのような形状をしているのかイメージし、その形状に応じた治療方法を検討しています。しかし、生体内の骨は予想もつかないような形に変形することがあり、そのような場合、レントゲン写真やCT等の画像だけで立体形状を正確に把握するのは難しいことがあります。また、最近では三次元画像が利用されるようになっていますが、この画像からも実際の骨の複雑な立体構造を正確に認識し、手術計画を立てることが難しい場合もあります。

実物大臓器立体モデルを使用すれば、患者さんの骨の形態をより正確に把握することができ、モデルを実際に触ったり割ったりしながら手術計画を立てたり、手術シミュレーションを行えるので、より適切な診断、治療に生かれます。また、患者さんやご家族に対する説明用のモデルとしても使用でき、病気の理解をより深めてもらうことにも役立ちます。立体画像を作製せず、通常のX線撮影画像、CT撮影画像を参考にして従来の手術を行うことも可能ですが、この先進技術を使うことで、手術の安全性、確実性が高まり、手術時間を短縮でき、良好な手術結果が得られると考えております。



骨が複雑に変形している場合、熟練した医師であってもその形状を完全にイメージすることは困難。「実物大臓器立体モデル」なら、より正確な骨の形状把握が可能になります。



<費用負担>

この先進医療は保険適用となっておりません。そのため、この診療を行う場合、保険診療費とは別に費用が発生しますが、民間の医療保険先進医療特約等に加入されている場合には、その費用が支給されることがありますので、加入されている保険会社へお問い合わせください。

ウィンゼルさんが

第102回看護師国家試験に合格いたしました。

京都九条病院の透析センターで働いているガマロ・ウィンゼル・ヴィラヌエバさんが3月25日、第102回看護師国家試験に合格しました。ウィンゼルさんは、経済連携協定(EPA)に基づく外国人看護師候補生として2011年来日、同年から当院で就労研修を受けながら国家試験に向けた受験勉強を続けてきました。

2月の試験では、日本が受け入れた外国人看護師候補生311名が受験しましたが、言葉のハンディキャップも大きく、そのうち合格したのは30名でした。合格率9.6%という狭き門を来日から1年9ヶ月という短期間で突破するには、相当な努力が必要だったことは言うまでもありません。

彼女は母国フィリピンでも看護師をしていたので、医療に関する知識には問題がなかったものの、やはり「漢字の勉強が大変だった」そうです。毎日猛勉強を続けた結果、いまでは街の看板も難なく読めるほどに。当院に就労以来、サポートしてきた南田看護副部長も、「真面目で、日本語の勉強にも熱心に取り組む、



指導の甲斐がありました。試験では漢字にルビを打つなどの配慮がされていましたが、彼女には必要なかったんです」とその熱達ぶりに感嘆しています。

子どもの頃から日本に憧れを持っていたというウィンゼルさん。その日本で看護師になるという夢に向かい第一歩を踏み出したわけですが、ここがゴールではありません。これからは自立した看護師として働いていくための質の高い技術や対応力を身につけることが求められます。今年度は、日本人看護師が受ける新人研修に受講生として参加する予定で、まだまだ努力の日々は続きますが、持ち前の向上心で乗り越えてくれると期待しています。

京都九条病院は2009年から外国人看護師候補生を受け入れてきましたが、今回が初めての合格者。それだけに、当院にとっても大きな喜びです。

これからも京都九条病院は外国人看護師候補生を支援していきたいと考えています。



FOOD
for **H**EALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座⑦

講師：京都九条病院 栄養科 係長 管理栄養士

尾木 敦子
Atsuko Ogi



美味しく食べて
夏バテ予防を
しませんか。



豚肉と野菜の
オープン焼き(梅風味)

材料(4人分)

1人分のエネルギー252kcal
蛋白質25.9g、脂質2.3g、炭水化物30.7g、
鉄2.6mg、ビタミンA180Ug、ビタミンE0.4mg、
ビタミンB11.08mg、ビタミンB20.36mg、
ビタミンB60.73mg、ビタミンC57mg、
食物繊維4.4g、塩分2.1g

豚ヒレ肉…400g
ピーマン…160g(4ヶ)
かぼちゃ…200g(1/4ヶ)
梅肉…36g(大きじ2杯)
濃口醤油…36g
みりん…16g
砂糖…8g

つけだれ

- ① 豚肉2cmの厚さに切る。
- ② 梅肉と調味料をよく混ぜ合わせる。
- ③ ①からませて、15分置く。
- ④ ピーマンは、種を取り4等分に、かぼちゃは、1cm程度の厚さに切る。
- ⑤ さといもは、1ヶずつラップにつつまみ、電子レンジで1分半ほど加熱。皮をむく。
- ⑥ オープンを200℃に温めておく
- ⑦ 天板に豚肉と野菜をのせ、オープンで20分ほど焼く。(ピーマンを焼きすぎないように)お好みでんにくを入れてもOK。

ジメツとした夏、この湿度の高い暑さは、とても不快で疲れがたまりやすく、他の季節とは比較にならないほどエネルギーを消耗します。にもかかわらず食事をつい簡単に済ませたり、冷たい物をたくさんとったりして栄養が偏ると、夏バテを起してしまいます。

夏バテ防止には、まず食品数を増やし、ビタミンやミネラル・蛋白質と水分をたくさんとる事をお勧めします。そこで今回ご紹介するのは、夏バテ対策としてビタミンB1を多く含む豚肉料理です。

◎かぼちゃ、ビタミンEは、野菜の中でもトップクラス。カロテン、ビタミンCは壊れやすいといわれますが、ピーマンは組織がしっかりしているため、調理等での損失が少なくすみます。

◎豚肉、カロリーが高いと思われませんが、ヒレ肉やもも肉などの赤身は、鶏肉よりヘルシー。

豚肉は牛肉の数倍ビタミンB1があり、中でもヒレは、同じ豚肉でもバラ肉の2倍近く、牛乳、牛肉の約10倍という豊富さ。疲労回復を促進し、鉄やミネラルも豊富で貧血予防にもなります。

◎梅、唾液の分泌を活発にし、食欲を高めるので、夏バテに効果的ですが、塩分が多いので食べすぎにはご注意ください。

◎さといも、蛋白質、ビタミンB群、Cなどを含み、芋類の中で一番カロリーが低く、胃や腸の粘膜を保護して丈夫にする作用があります。疲れているときや食欲のないときにとりたい食材です。

LOVE
my **H**OSPITAL

私の病院自慢あれこれ⑩

病院のママが好き!!
京都九条病院のイイところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

好きな言葉 favorite word

「絆」

川端 涼太
リハビリテーション部
理学療法士



皆がしっかり意見を持っているところ。リハビリテーション部は同世代のスタッフが多いこともあり、患者さん一人ひとりのリハビリのやり方や方針などについて話し合い、互いに自分の考えを出し合ってよりよい方法を模索しています。京都九条病院は地域に密着した病院なので、患者さんの自宅での暮らしを知ったうえでそれに合わせたリハビリを提供することが出来ます。ここでしっかり経験を積み、どんな患者さんにも対応できる療法士になりたいと思っています。

好きな言葉 favorite word

「笑顔」

木下 洋子
事務部 総務課



働きやすいことです。スタッフが何を尋ねてもきちんと答えてくださいますし、何より話しかけやすいので気軽に相談できます。主な仕事は院長の秘書業務と総務業務。入職して約1年、業務にも少し慣れてきたせいか、もっと勉強したいという気持ちが湧き、いま保険関係の勉強をしています。内容が複雑で、質問に来られる職員の方も多いので、上司のように聞かれたことをすぐに答えられるエキスパートになって、皆さんのお役に立ちたいですね。

好きな言葉 favorite word

「どれだけ出来たかではなく、どれだけ乗り越えてきたか」

山内 唯
看護部 4階病棟 クラーク



周りのスタッフに恵まれたことです。ドクターが医療業務に専念できるよう、補助を行うのが私の仕事。何も分からない新人のときもドクターをはじめスタッフの皆さんが優しく指導し、見守ってくれたのでここまでこれたと感謝しています。なにか人の役に立つ仕事をしたいと思ったのが入職の動機。患者さんから「この病院に来てよかった」という感想を聞いた際に、地域の方に評価され、喜ばれる医療チームのスタッフとして働いているんだと、実感しています。

好きな言葉 favorite word

「向上心」

柿本 俊幸
臨床工学課 臨床工学技士



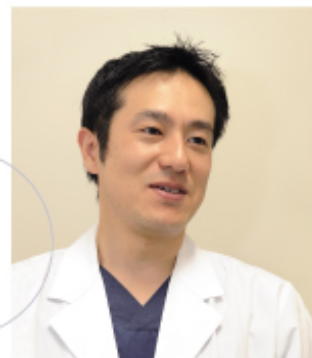
先輩が優しくて、丁寧に教えてくれることです。今年の4月に入職したばかり。学校で知識は学んできましたが、実践となるとまた違った難しさがあり、この仕事の奥深さをひしひしと感じています。いろんな分野のことを広く学び、早く先輩方の期待に応えたいですね。技士はさまざまな機械を駆使する技術者だと思われがち。もちろん技術は重要ですが、それだけではなく、看護助手をした時の経験を生かして患者さんを思いやれる技士になりたいと考えています。

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 消化器内科

宮脇 喜一郎先生
Kiicburo Miyawaki



子どもと過ごす時間と
エアロバイクで
リフレッシュしています。



私は食べるのが好きなのでその分運動はこの愛用のエアロバイクで、健康管理のパートナーなんです。

4月から消化器内科で勤務しています、専門は内視鏡治療。患者さんに楽に検査・治療を受けていただけるよう、できるだけ負担の少ない治療方針を立てることを心がけています。

今、大切にしているのは子どもと過ごす時間です。1歳をすぎ活発に動くようになってきて、近所を散歩したり家の中で追いかけてっこをしたり、一緒に遊ぶのが楽しいですね。子どもと触れ合うと仕事の緊張も解けて癒されるんですよ。週末や休みの日はお風呂にも入れていますし、「イクメン」としても合格かな?と思っています。

日課にしているのはエアロバイク。毎日、DVDプレイヤーでアクション

映画を見ながら1時間くらい漕いでいます。運動の友として一番びったりな映画はロッキーですね。もうちょっと頑張ろうという元気が出てくるんです。体力作りが目的ですが、汗を流しながら無心に漕いでいると、ストレスも自然に発散できて爽快な気分になれるのがいいですね。

子どもが生まれる前は、妻と2人でよく旅行に出かけていました。東南アジア、とくにカンボジアがよかったですね。アンコールワットなどの遺跡はもちろん、街のたたずまいも魅力がありました。子どもがもう少し大きくなれば、家族であちこちに旅行したいと思っています。



好成績を残した京都九条病院チーム。チーム内区間賞は北野真吾さんでした。



脳神経外科 脳卒中センター長 平井 誠

手術中継室 看護部 木村 拓実

検査部 放射線科 高澤 憲吾

看護部 外来 看護 清水 浩子

看護部内科部長 佐久間 孝雄

業務推進室 主任 前田 留雄

検査部 放射線科 主任 北野 真吾

院外活動のご紹介!!
「宇治太陽が丘スリート
リレーマラソン」で20位に!

4月21日に行われた「第二回宇治太陽が丘スリートリレーマラソン」に、当院のドクター、看護師、技師、事務職員の7名がチームを組んで出場し、512チーム中「20位」という好成績を修めました。

この「宇治太陽が丘スリートリレーマラソン」は、途中スリートを楽しみながら公園内を18周(42・195キロ)走るというもので、今年から始まった大会。コース内の「給スリーツポイント」には、老舗菓子舗が作った30種7万個のスリーツが用意されているとあって、初回にもかかわらず府外からも多くのチームがエントリーしました。スリーツを食べながら、しかも着ぐるみで走るのもOKという大会だったこともあり、京都九条病院チームも楽しんで走ろうとエントリーしたそうですが、そこは殆どがフルマラソンの経験者という実力者集団。途中経過でベストテンも狙える順位にいることを知ると、本気モードにギアチェンジ。食べるのは我慢してスピードアップを図りました。それぞれが実力を出し切り、20位という好成績に繋がりました。メンバーは休みの日や朝に練習しており、普段はそれぞれ大会に参加しているのですが、「仲間と走るのが共同作業的で楽しかったし、親睦にもなった」という感想が多く聞かれました。また、「私も出たかった」という声もあり、来年は食べるのを楽しむチームと記録狙いのチームでエントリーしたいと張り切っています。



院内散策 さんさんく

22

『平成24年度 看護研究発表会』

主催 京都九条病院

京都九条病院をはじめ同仁会グループの看護師は、看護の質の向上とさらなる医療サービスの充実を目的として様々な研究に取り組み、またそうした研究の成果を広く生かせるよう研究発表会を開催しています。

- ◎ 腱板修復術後患者の入院生活上の不自由さと、それへの対処をふまえたパンフレット使用による使用後の変化
- ◎ 抜釘?回目的手術)を受ける患者の不安
- ◎ 看護師と患者・家族間の嚙下機能評価の共有による訓練の成果
- ◎ 在宅における訪問看護師とケアマネジャー、ホームヘルパー間の連携困難に関する調査
- ◎ 第2回目のテーマは



いずれのテーマも、患者さんが感じる身体的、精神的、社会的苦痛をいかに軽減するか、そのためにどのような工夫や配慮が必要になるのか、さらに患者さんを支える看護師の問題をどう解決するかを探求したもので、切実で大切な課題を扱っています。それだけに参加者の関心も高く、熱心な質疑応答が行われ、研究発表会は盛況でした。

研究内容は、看護師が現場で気付いた看護の疑問や課題をテーマとし、約一年かけて取り組みます。現実に根ざしたテーマであり、データに基づいて研究が行われることから、これらの研究結果は看護の新たな知見を広げることにつながり、実際の看護に生かすことができます。

- ◎ 遷延性意識障害患者への座位援助
- ◎ 認知症高齢者の睡眠障害の改善
- ◎ 自宅退院を目指す高齢者への内服自己管理に対する看護
- ◎ 二次救急地域に密着した病院で働く看護師が抱える看護実践上の困難と対処
- ◎ 5項目の発表を行いました。

- ◎ 平成24年度は全11項目の研究発表があり、今回は2回に分けて看護研究発表会を開催いたしました。
- ◎ 第1回目のテーマは6項目
- ◎ 脳梗塞患者の早期離床について
- ◎ エンゼルケア時の看護士の配慮について

これら京都九条病院看護部の看護研究は、毎年、日本看護学会で採択され、学会の論文集に掲載されています。私たちは、患者さんお一人おひとりを大切に安全で安心な看護を目指して、これからも自己研鑽に努めていきます。



医療法人同仁会(社団) **京都九条病院** 〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10 TEL.075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団) **介護老人保健施設 マムフローラ**
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2 TEL.075-666-3396(代)

医療法人同仁会(社団) **介護老人保健施設 マムクオーレ**
〒601-8326 京都市南区当麻院南落合町40-3 TEL.075-691-7756(代)

医療法人同仁会(社団) **介護老人保健施設 マムクオーレII**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30 TEL.075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 **訪問看護ステーション・マム**
〒601-8454 京都市南区唐橋藤屋町16 TEL.075-661-3820(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 **訪問リハビリテーション**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10 TEL.075-694-6644(代)

医療法人同仁会(社団) **ヘルパーステーション マム**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町36マム・スクエア内2階 TEL.075-694-6622(代)

医療法人同仁会(社団) **京都市唐橋地域包括支援センター 京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町36マム・スクエア内1階 TEL.075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団) **居宅介護支援マムステーション**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町36マム・スクエア内2階 TEL.075-694-6699(代)

医療法人同仁会(社団) **ショートステイ マム**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10 TEL.075-691-7967(代)

医療法人同仁会(社団) **同仁会クリニック**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30 TEL.075-691-7766(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設) **同仁会疾病予防研究所**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30 TEL.075-691-5070(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設) **メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30 TEL.0120-658-758